

みつる
横浜市議員 **かじむら 充** 市政レポート

平成30(2018年) 10月11日 第36号 討議資料

プロフィール(現在の役職)

- 市会 前第48代横浜市長・横浜市議員 5期、神奈川県内広域水道企業団議会議員 政策・総務・財政委員会、郊外部再生・活性化特別委員会
- 自民党 自民党横浜市支部連合会 幹事長、自民党泉区連合支部 支部長
- その他 横浜市ボウリング協会 会長、親善交流ジュニアリーグ野球連盟 会長
学童野球北部球友会 会長、横浜市早朝野球連盟 副会長
全日本不動産協会 横浜支部 顧問、横浜市管工事協同組合 顧問、
神奈川県宅地建物取引業協会 横浜西部支部 顧問、
(一社)横浜市地質調査業協会 顧問、(一社)神奈川県測量設計業協会 顧問



発行元：自民党泉区第五支部

◇横浜市強靱化地域計画◇

～強靱化に関する取組の方向性～に対するパブリックコメントの実施

横浜市では、国による「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」の第13条に基づき、国土強靱化に関する取組の方向性を示すものとして、表題の計画(素案)を取りまとめました。皆様からのご意見を募集します。

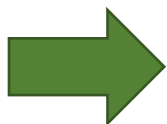
募集期間：平成30年10月12日(金)～11月26日(月)

横浜市強靱化地域計画(素案)の特徴

- ◎ 様々な自然災害を想定して設定した37の「起きてはならない最悪の事態(リスクシナリオ)」を回避するために、本市の現在の取組の脆弱性を分析し、課題等を明らかにした上で、今後必要となる取組の方向性を総合的に検討し、とりまとめました。
- ◎ 公共施設の保全・更新や、地域における見守り活動の支援など、強靱化につながる平時からのハードとソフトの取組を幅広く位置づけました。

横浜市強靱化地域計画の位置付け

- ◎ 横浜市には「横浜市基本構想(長期ビジョン)・横浜市中期4か年計画(2018～2021)」が有り、当然整合していなければなりません。また「分野別計画・横浜市防災計画・横浜市地震防災戦略」もあり、その計画との整合も必要です。また国による「国土強靱化基本計画」との調和も必要になります。



市民の皆様からのご意見やご提案は、横浜市政策局政策課 まで。
詳しくは、政策局ホームページをご覧ください。

かじむら充事務所

〒245-0013 横浜市泉区中田東 3-19-5
TEL 045-806-1051 FAX 045-806-1053

facebook twitter goo プログ! 日々、つぶやいています!

横浜市議員 かじむら充

検索

ご意見をお寄せください → www.m-kajimura.com



泉区長に
横浜泉中央ボイラーズ
の皆様と一緒に
東日本大会優勝報告

横浜市無電柱化推進計画（素案）について

市民の皆様のご意見を募集しています。

横浜市では、今までも、緊急輸送路を中心に無電柱化の整備を進めてまいりましたが、第1次緊急輸送路の無電柱化率は約33%であり、まだまだ整備が進んでいるとは言えません。しかしながら、無電柱化は、都市の防災力の向上、良好な都市景観の形成や観光振興、安全で快適な歩行空間の確保に寄与する重要な取組です。

そこで、平成28年12月に施行された「無電柱化の推進に関する法律」第8条に基づき、横浜市においても無電柱化を推進するため、基本方針、期間、無電柱化の推進に向けた施策等を定めた「横浜市無電柱化推進計画(素案)」を作成し、市民の皆様からご意見をいただき、平成30年度内に計画の策定をします。

募集期間：平成30年10月9日（火）～平成30年11月9日（金）

無電柱化推進に関する基本方針

▶ 方針1 都市の防災力の向上 ～ヨコハマを安全なまちに～

- ◎ 災害時の救援活動や応急復旧を速やかに展開できるよう、第1次緊急輸送路等(道路法第37条の占用制限路線)において無電柱化を推進します。
- ◎ 多くの市民が来訪し、災害時には拠点として機能する区役所・土木事務所・消防署・警察署・災害拠点病院と第1次緊急輸送路等を結ぶアクセス路について無電柱化を推進します。

今後の10年目標

完成目標

- 緊急輸送路の環状ネットワーク3路線の完成
- 既に事業着手している緊急輸送路、区役所等へのアクセス路の完成

着手目標

- 第1次緊急輸送路等について、道路延長65kmを新規事業着手
- 未整備の区役所等へのアクセス路について新規事業着手

▶ 方針2 良好な都市景観形成や観光振興 ～ヨコハマを美しく魅力的なまちに～

- ◎ 良好な都市環境を形成し、横浜の魅力を高めるため、来訪者が集中する都心部において面的に無電柱化を推進します。
- ◎ 横浜の観光資源の魅力を高めるため、主要な観光地周辺、集客施設へのアクセスルートの無電柱化を推進します。

今後の10年目標

- 関内地区、横浜駅周辺の推進
 - 港の見える丘公園等の主要な観光地周辺、集客施設へのアクセスルートの推進
- ※無電柱化にあたっては、整備する路線や時期を定めた実施計画を別途策定します。

コラム

～相鉄線の星川・天王町～

相鉄線の連続立体交差事業は、事業開始から16年の年月を経て、「平成30年11月24日（土）始発より、上下線とも高架化完成へ」ついに踏切除却されます。

その効果は →

交通の円滑化～踏切除却による交通渋滞の解消など
安全性の向上～緊急時の活動の迅速化など
地域の発展～鉄道で分断されていた地域の一体化など
利便性の向上～周辺道路整備や高架下空間の有効活用

今後の工事予定 →

上り線高架後は、旧踏切部の工事や駅舎、周辺整備を行います。